令和8年度外部評価　質問票

施策25　生涯にわたる学びの支援（担当：髙山委員）

質問No.	事務事業名等 （プルダウンメニューより選択）	質問内容	
1	社会教育委員	委員記入欄	社会教育委員の現在の構成と規定における委員の取り決めについて教えてください
		所管課回答欄	社会教育委員は、「杉並区社会教育委員の設置に関する条例」に基づき、学校教育および社会教育関係者5名、家庭教育の向上に資する活動を行う者1名、学識経験者3名の計9名で構成しています。
2	社会教育の振興	委員記入欄	社会教育士の資格取得者は2名と記載がありますがこれは当該年度に新規に取得した者を意味するようでしょうか。その場合、杉並区における社会教育士の人数および社会教育士の養成・資質向上のための取組みについて教えてください（別項目には、つながりを作る取組みについて言及されていますが、これを含めて）
		所管課回答欄	2名は当該年度に新規に取得した職員を意味します。 区職員の中では23名の社会教育士を把握しています。 資質向上の取組では、ファシリテーション能力・コーディネーション能力・プレゼンテーション能力等を高めるため、学び合いのワークショップやスキルアップ講座に参加するほか、社会教育士同士のつながりを育むため、社会教育士と協力し、集いの場を設けました。
3	社会教育の振興	委員記入欄	社会教育士の具体的な活動内容について教えてください。区職員として1名在籍していることが読み取れますが、それ以外の方々についても教えてください。
		所管課回答欄	地域の学び推進課の社会教育士は15名です。 社会教育事業の企画実施、地域運営学校や学校支援本部、PTA活動等の支援、社会教育関係団体からの相談対応など、担当業務に即して活動することで、区民の学び合いやコミュニティづくりに取り組んでいます。
4	社会教育の振興	委員記入欄	区内高等教育機関（5大学）との包括協定による協議会について、杉並区として、今後期待する活動について教えてください。
		所管課回答欄	包括協定の目的である地域社会の発展と人材育成への寄与のため、教育、文化、まちづくり等の分野で相互に連携が進むよう、協議会には人的交流や物的活用等を図る情報交換や事業等を期待します。
5	地域教育力の向上	委員記入欄	令和5年に「活動指標」である協議会開催事業回数が260回と計画を大幅に上回り多かったのはどのような理由によるのでしょうか。
		所管課回答欄	令和5年度は、地域教育推進協議会の1地区で実施した不登校児童・生徒の居場所支援（約150回）の実績を計上したため、開催回数が計画値を大きく上回りました。なお、当該取組は令和6年度から学校で実施することとなったため、実績には含まれておりません。

質問No.	事務事業名等 （プルダウンメニューより選択）		質問内容
6	次世代型科学教育の推進	委員記入欄	「イマジナス」撤退とのことですが、撤退理由および協働により得た知見やノウハウがあれば教えてください。
		所管課回答欄	運営事業者からは、来館者数や収益が当初の想定を下回る状況が続き、事業収支が当初計画から大きく乖離したことから、事業の継続が困難となったことが撤退理由です。 運営事業者との協働を通じて、多様な科学体験プログラムを生み出す企画力、専門人材を配置した事業運営、企業・専門家・科学活動団体等との人的ネットワークの形成・拡大について、知見やノウハウを得ることができました。
7	社会教育事業の運営	委員記入欄	「すぎなみ大人塾」「すぎなみU30ミーティング」ののべ参加者は合計700人と令和5年との比較で減少していますが、この内訳を教えてください。また、令和5年が計画400名に対し約900名と多かった要因があるようでしたら、併せて考えられる理由について教えてください。
		所管課回答欄	「すぎなみ大人塾」は令和5年度・7年度とも、総合コース、地域コース、はじめの一歩コースの3つのコースと3コース合同成果発表会を実施しています。令和5年度と令和7年度の比較は以下の通りです。 [総合コース] 375名→234名(141名減) [地域コース] 195名→200名(5名増) [はじめの一歩一コース]221名→95名(95名減) [合同成果発表会]13名→31名(18名増) [すぎなみU30ミーティング]100名→145名(45名増) ;新型コロナウイルス感染症対策を徹底することを前提とした目標値を設定していましたが、令和5年5月に新型コロナ感染症対策が緩和されたことにより、令和4年度に比較して申込者・参加者が大幅に増えたことが主たる要因と考えられます。